

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（令和元年度）

基金の名称	畜産高度化支援リース基金
法人名	一般財団法人畜産環境整備機構
基金額（機構補助金等相当額）	17,664百万円（17,664百万円）（平成31年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	畜産経営における家畜排せつ物の利活用の推進及び環境整備、食肉や生乳流通の効率化・合理化に必要な施設等の導入をリース方式で支援することにより、我が国畜産の安定的発展を図る。
基金事業を終了する時期	設定していない。 堆肥保管施設整備リース事業は、平成26年度の新規貸し付け分の貸付金回収を令和14年度まで実施し、令和15年度中に基金を閉鎖予定。 畜産環境対策リース事業は、令和元年度から令和6年度まで新規貸し付けを実施し、貸付金の回収を令和25年度まで実施し、令和26年度中に基金を閉鎖予定。
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	畜産高度化支援リース事業実施要綱及び同事業実施要領に基づき申請を受け付け、審査等を行う。

2. 見直し結果（令和元年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	「農畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準」（平成19年3月28日付け18農畜機第4545号）に基づき、毎年度見直しを行っており、平成30年度は2,064百万円を機構へ返還。		
基金事業実施時期	平成22年度～		
収入・支出等 （平成30年度実績）	①期首残高	6,063百万円	
	②収入	貸付料償還収入	3,243百万円
		附加貸付料等収入	110百万円
		運用収入	0百万円
	合計	3,354百万円	
	③支出	機構への返納額	2,064百万円
貸付物件取得費		1,509百万円	
管理費等		296百万円	
合計		3,869百万円	
④期末残高（①+②-③）	5,548百万円		
交付決定等実績 （平成30年度実績）	交付決定等件数 174者 交付決定額等 1,509百万円（貸付物件取得費のうち平成30年度検収分）		

基金の保有割合	算出した保有割合は0.9であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。	
基金の保有割合の算出	<p>(算出に用いた方式)</p> $\text{保有割合} = (\text{平成30年度末基金残高} + \text{平成30年度末貸付残高}) / (\text{平成30年度末貸付残高} + \text{令和元年度貸付物件取得見込額} - \text{令和元年度回収見込額} + \text{令和元年度機構への返還額} + \text{令和元年度管理費見込額} + \text{令和2年度から6年度までの事業費見込額} (\text{※1}) - \text{令和元年度から5年度までの回収見込額} (\text{※2}) - \text{令和元年度から5年度までの回収見込額} (\text{※3}) - \text{令和2年度から基金閉鎖年度までの回収見込額} (\text{※4}) + \text{令和2年度から基金閉鎖年度までの返還見込額} (\text{※5}) + \text{令和2年度から基金閉鎖年度までの管理費見込額} (\text{※6}))$ $= (5,548\text{百万円} + 12,116\text{百万円}) / (12,116\text{百万円} + 2,545\text{百万円} - 2,511\text{百万円} + 0\text{円} + 251\text{百万円} + 5,909\text{百万円} - 2,681\text{百万円} - 1,034\text{百万円} - 3,831\text{百万円} + 5,939\text{百万円} + 2,226\text{百万円})$ <p>(算出に用いた数値)</p> <p>平成30年度末基金残高：5,548百万円 平成30年度末貸付残高：12,116百万円 令和元年度貸付物件取得見込額：2,545百万円 令和元年度回収見込額：2,511百万円 令和元年度機構への返還額：0円 令和元年度管理費見込額：251百万円 令和2年度から6年度までの事業費見込額(※1)：5,909百万円 令和元年度から5年度までの回収見込額(※2)：2,681百万円 令和元年度から5年度までの回収見込額(※3)：1,034百万円 令和2年度から基金閉鎖年度までの回収見込額(※4)：3,831百万円 令和2年度から基金閉鎖年度までの返還見込額(※5)：5,939百万円 令和2年度から基金閉鎖年度までの管理費見込額(※6)：2,226百万円</p> <p>(※1)：畜産環境対策リース事業に係る令和2年度～令和6年度までの事業費見込額 (※2)：堆肥保管施設整備リース事業に係る令和元年度～5年度までの回収見込額 (※3)：畜産環境対策リース事業に係る令和元年度～5年度までの回収見込額 (※4)：堆肥保管施設整備リース事業に係る令和2年度から基金閉鎖年度までの現時点における回収見込額 (※5)：堆肥保管施設整備リース事業に係る令和2年度以降の機構への返還見込額(令和元年度以降に回収し返還を予定している金額)4,511百万円と、H30年度に回収し畜産環境対策リース事業の貸付原資の一部として繰り入れた1,428百万円の合計額。(畜産環境整備リース事業の新規貸付終了後、1,428百万円は機構へ返還する見込み。) (※6)：これまでの堆肥保管施設整備リース事業で得られた附加貸付料の平成30年度末残高2,024百万円+令和元年度附加貸付料見込額85百万円-令和元年度管理費見込額251百万円+令和2年度から基金閉鎖年度までに得られる見込みの附加貸付料見込額370百万円の合計額</p>	
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無	無
その他	(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)	